

平成 27 年度 IMES コンソーシアム
事業実施結果(案)

平成 28 年 8 月 24 日

規約第 43 条 に基づき、以下のとおり事業実施結果を報告します。

1. 広報活動

IMES の普及、発展を目指して以下の広報活動を実施する。

1.1 ホームページの運営

IMES コンソーシアムの日々の活動、シンポジウムや講習会（セミナー）等の開催案内、会員企業及び会員相互間の情報交換、IMES システム導入事例紹介、IMES 技術仕様（IS-QZSS）に対する意見具申の取り纏め、IMES 利用議定書の発行・改定・維持、IMES 利用ガイドラインの作成・改定・維持等の紹介等、IMES 普及・発展のための様々な情報提供・情報交換のため、ホームページを引き続き運営した。

なお、2015 年 5 月 28 日、ホームページを全面的にリニューアルした。
(<http://imesconsortium.org/>)

1.2 シンポジウム等の開催

IMES の普及、発展のために IMES コンソーシアム主催のシンポジウム、ワークショップや講習会等を開催する。また、関連学会との連携によるシンポジウム等の開催を目指したが、準備不足、資金不足により開催できなかった。

(1) シンポジウム開催

開催趣旨： 現在、宇宙戦略室で見直しが進んでいる「宇宙基本計画（案）」中、“第 3 章宇宙開発利用に関し政府が総合的かつ計画的に実施すべき施策”の中で、(2)課題②次世代測位衛星関連技術の研究開発の中で、“IMES を活用したアプリ開発等に引き続き官民が連携して取り組むべきである”と、IMES 技術の有用性が国の施策の中で引用されている。IMES コンソとしては、関連業界への一層の働きかけにより、IMES 技術の本格導入実現に向けて普及・促進をアピールするため、シンポジウムを開催する。

開催時期： TBD

開催場所： 東京

(2) 講習会（セミナー）開催

開催趣旨： 屋内位置情報に関する専門家向けの情報提供

開催時期： 年間 2～3 回程度

開催場所： 東京地区他

1.3 実証実験の実施と実施場所の維持・提供

JAXA オープンラボのグループ及びクリエイティブ・シティー・コンソーシアム位置情報ワーキンググループと連携して、東急二子玉川地区での実証実験の実施を IMES コンソーシアムに参加する会員の企業に対して、実証実験実施の機会や実施場所を維持し、実施提供を IMES コンソーシアムが斡旋した。

(1)二子玉川ライズショッピングセンター（世田谷区）との連携

JAXA オープンラボで着手した「広告連動型プラットフォーム開発」については、平成 25 年 3 月末で終了したが、引き続き、「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム（CCC）」活動と連携して、会員による実験場所として提供した。

(2)JR 鉄道博物館（大宮市）との連携

JR グループが鉄道博物館で実施した JAXA オープンラボ活動と連携して、駅等の広範囲な公共地域における IMES 導入事例を会員に紹介した。

(3)池内ビル（札幌市）との連携

池内ビルと連携して、IMES の普及促進を図る。

(4)その他

福井大学附属病院と連携して、会員による実証実験を紹介した。

1.4 広報・普及用ツールの開発

(1) 広報・普及用ツールの開発

会員の提案等に基づき、引き続き IMES の普及・発展に必要なツールの開発を行い、会員がいつでも利用できるよう整備した。

1.5 IMES 関連技術ドキュメントの作成

(1) IMES 定義書の作成

2015 年 7 月に立ち上げたワーキンググループにより、定義書を改定する。本書は、次のことがらを目的として、米国から使用を許諾された PRN コードを用いて実施する IMES の運用・利用形態を規定するものである。

- ・ IMES システムの運用の仕組みを明確化する。
- ・ IMES システムおよび構成要素に対する機能・性能要求の前提条件を与える。
- ・ IMES システムおよび構成要素の設計検討範囲を定める。

2015 年 7 月 3 日、本文書改定のために、ワーキンググループを立ち上げ、検討を着手した。(検討を継続中)

(2) IMES 運用ガイドライン

2015 年 7 月に立ち上げたワーキンググループにより、運用ガイドラインを作

成する。

2015 年 7 月 3 日、ワーキンググループを立ち上げ、検討を開始した。(検討を継続中)

なお同日、以下のサブ・ワーキンググループを立ち上げた。

- ① 技術サブ・ワーキンググループ：IMES 定義書の改定
- ② 運用サブ・ワーキンググループ：IMES 運用ガイドラインの作成
- ③ 実証実験サブ・ワーキンググループ：実証実験計画の企画・実施

1.6 White Paper の作成、公表

IMES 技術の特徴や、IMES の普及状況、IMES コンソーシアム活動動向等をまとめた文書を、年度ごとに作成、公表する。このため、作成ワーキンググループを組織する。

本件は、実施できなかった。

1.7 教育普及活動の実施

国内外で開催される展示会、学会等の機会を利用して、IMES コンソーシアム及びコンソーシアム参加企業との連携による参加者を募集した。

(1) ワイヤレステクノロジーパーク 2015

開催期間： 5 月 27 日～29 日

開催場所： 東京ビッグサイト

(2) ロケーションビジネスジャパン 2015

開催期間： 6 月 10 日～12 日

開催場所： 幕張メッセ

(3) G 空間 EXPO 2015

開催時期： 11 月 12 日～14 日

開催場所： 日本科学未来館（お台場）

また、社会貢献の一環として、GPS や「みちびき」の普及も含めて、IMES の普及のため、青少年や一般の方々への理解増進を推進するための活動を推進した。

1.8 他団体等との連携

以下の団体の連携を積極的に推進した。

- ① 測位航法学会
- ② 一般財団法人 衛星測位利用推進センター
- ③ クリエイティブ・シティー・コンソーシアム位置情報ワーキンググループ
- ④ 準天頂衛星システム株式会社

2. IMES 仕様の標準化に関する提言

必要に応じて、IS-QZSS で規定されている「IMES 仕様」に関する変更提案をコンソーシアムの総意として意見集約し、提言として纏める。また、IMES 送信機管理要領に関する意見書を纏め、JAXA と調整した。

3. IMES の国際化のための取り組み

IMES を屋内測位の世界標準として普及させることを目指し、IMES に対する NMEA 仕様案を作成した。

4. 東京オリンピックに向けた取組み

2020 年東京オリンピックに向けて、準天頂衛星及び IMES によるシームレス測位システムの導入を、IMES コンソーシアムを中心とした連合体を組織して、関係省庁、並びに東京都に働きかけを行ったが具体化に至っていない。

以上